

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		060205 福祉資金貸付事業		担当部課	部課コード	060200	2998-9021		
開始年度		昭和 55 年度		終了年度	年度				
生活福祉課		グループ		保護・庶務担当					
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加			
	分野別計画・指針	根拠法令							
	関連・類似事業	母子・寡婦福祉資金貸付進達事務(子ども支課)、国民健康保険給付事業(国民健康保険課)							
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	社会保障	基本方針	低所得者世帯への支援を行います		
事業開始の背景	一時的に生活に困窮に至った者、または傷病等により療養費困窮者に対する生活の安定と自立の助長を図る事業である。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	一時的に生活困窮に至った低所得者または傷病等による医療費の支払が困難な状態にある者に対し、当該資金を貸し付けることにより、生活の安定と自立の助長を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	152,693	世帯			
	一時的に生活困窮に至った低所得者または傷病等による医療費の支払が困難な状態にある世帯			平成 27 年度	154,559	世帯			
事業の具体的な内容及び実施方法									
基金の額 7,300万円 ・生活資金は、相談・申請書類提出により貸付ける。 償還能力があり市内在住の連帯保証人が1名必要 限度額10万円・重複貸し付けできない 償還20回以内 ・高額療養費つなぎ資金は、相談申請書類提出により高額療養費分のみ医療機関に支払う 高額療養費分のみ貸付 医療機関の承認 自己負担分の領収書 限度額月額70万円									
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			0	0	0			
	決算(見込み含む)								
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.05 人)	(0.10 人)	(0.05 人)	(0.10 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	3.84 人	33,489	3.40 人	29,444				
	事業費合計			33,489	29,444				
財源内訳	一般財源			33,489	29,444	0			
国・県支出金									
その他()									
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	貸付件数	年間貸付件数A		件	42	26	25	
		貸付額	年間貸付額		千円	4,200	2,600	2,500	
借受人の内、生活保護受給しない件数(自立した件数)		借受者の内、生活保護受給しない件数(自立した件数)B		件	40	24			
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	借受人の内、自立した率	B ÷ A	%	目標値	100	100	100	
					実績	95	92	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	95	92	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	戸籍照会による転出先不明者の所在確認等の追跡調査により、貸付金の回収を強化した。結果、平成27年度は、4,958,743円が返済され、基金の現金保有額が18,565,873円までに回復した。				福祉資金を給付したが、一時的な困窮から生活安定に至らない場合がある。				
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	一時的に生活に困窮した方を救済する有効な事業であるため。			
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他					
評価	評価	次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由				
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性			
評価	評価	限られた基金の中での貸付なので、福祉基金の趣旨をよく理解していただき、完納を前提とした貸付を行っている。				貸付金の回収のさらなる強化により、基金の現金保有額が増加した。今後も引き続き回収に努めるとともに、福祉資金を貸し付けることにより、困窮者を救済し、生活の安定と自立の助長に寄与していく。			
		評価日	H28.8.19	評価者職氏名	生活福祉課長 荻野 亨				
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	申請書類の作成	規制を受ける環境法令等	無		
						緊急事態	無		